



第25回戦争遺跡保存全国シンポジウム広島大会

2022.8.20(土), 21(日), 22(月)

場所：広島市青少年センター

参加費：一般●1日1,000円 学生・障がい者●1日500円

旧軍都・被爆都市を経て、
戦争遺跡保存の原点となった広島から、
戦争も核兵器も許さない世界の
創造に向けた取り組みを深めよう

記念すべき第25回戦争遺跡保存全国シンポジウムを、被爆の地、広島で開催します。

原爆ドームの世界遺産登録を目指す運動は、国史跡の指定基準の改正につながり、明治以降の戦争遺跡について国の史跡・文化財登録への道を開きました。また、原爆ドームを含む多くの被爆建物の保存は、市民の声や運動の力があってこそ実現したものです。その意味で、広島は日本における戦争遺跡保存運動の一つの原点と言えます。

広島は「被爆」に焦点が強くあたる反面、日清戦争を契機に軍都として大きく発展した地でもあり、広島市が被爆建造物として指定し保存支援をしている建物の中にも、軍都広島時代の軍事施設が含まれています。このことに改めて注目が集まったのは2019年、巨大な被爆建物である旧陸軍被服支廠倉庫3棟(1913年建造)について、県が安全対策を主な理由に1棟外観保存2棟解体の方針を打ち出したのがきっかけでした。被爆者や当ネットワークをはじめ全国の市民から解体反対の声が寄せられた結果、県は方針の再検討を始め、重要文化財指定の検討や利活用を考える取り組みが始まっています。

2022年春には、平和記念公園内で「被爆遺構展示館」(民家の被爆遺構の展示)が開館し、行政による初めての被爆遺構保存展示事業として注目されています。しかし一方で、2021年にサッカースタジアム建設予定地の中央公園(広島城の西)で発掘中であることが明らかとなった旧陸軍輜重兵補充隊の広大な被爆遺構については、市は保存を要望する市民の声をよそに「一部を切り取って保存」するにとどめ、建設工事を進めています。このように、建物が現存しない埋蔵文化財としての被爆遺構について、保存に関する市の明確な方針は定まっていません。参加者の皆さんからのご意見を期待します。

戦争の悲惨さと愚かさを広島で再認識し、戦争遺跡を平和の砦として保存・活用するという視点を皆さんと共にさらに研ぎ澄ましていきたいと願っています。広島の地でお迎えできることを楽しみにお待ちしております。

お申し込みはこちら↓

<https://sensekinet.jimdofree.com>

(「戦争遺跡保存全国ネットワーク」ホームページ)

上記サイトから申込書をダウンロードして、メールかFAXでお送りください。(詳細・お送り先はサイトをご覧ください)

※当日の一般参加も可能ですが、なるべく事前のお申し込みをお願いします。

主催

戦争遺跡保存全国ネットワーク・
第25回戦争遺跡保存全国シンポジウム
広島大会実行委員会

後援

広島県、中国新聞社、
旧被服支廠の保全を願う懇談会、
広島・ヒロシマ・広島を歩いて考える会、
加害の歴史から広島を考える会、
一般社団法人ラジカルバナナ



大会日程

8月20日(土) 全体会・講演会 @ 広島市青少年センターホール

受付 12:00～ 全体会 13:00～

開会挨拶

記念講演 「ヒロシマの願いを世界へー平和行政の歩みー」
元広島市国際平和担当理事(兼平和記念資料館館長) 原田浩様

基調報告 戦争遺跡保存全国ネットワーク運営委員 菊池実

地域報告 広島大学名誉教授 藤野次史

広島・ヒロシマ・広島を歩いて考える会 多賀俊介



原田 浩(はらだひろし)

1939年広島市生まれ、6歳の時、広島駅で被爆。広島市国際平和担当理事、広島市文化財団理事長などを歴任。現在、広島市ピースツーリズム推進懇談会座長、広島市被爆体験証言者。

8月21日(日) 分科会 @ 広島市青少年センター会議室ほか

1 分科会 9:00～15:00

- ・第1分科会:「保存運動の現状と課題」(第一集会室)
- ・第2分科会:「調査の方法と整備技術」(第一講義室)
- ・第3分科会:「平和博物館と次世代への継承」(第三集会室)
- ・図書交換会:第一会議室 ※10:00～14:00

2 閉会集会 15:10～16:00



2019年に解体案が浮上したが、その後保存に向けた検討が進んでいる旧陸軍被服支廠。

8月22日(月) 現地見学会

※別途事前申込みが必要です。定員になり次第締め切ります。

- A. 旧被服支廠と広島城周辺軍都遺跡を巡るコース
(9時広島駅～12時頃青少年センター、一部バス利用)
- B. 呉旧海軍地下工場(予定)等軍都遺跡を巡るコース(8時半広島駅～14時頃広島駅、バス利用)
- C. 太田川上流の朝鮮人労働、強制連行中国人労働により建設されたダムと碑を巡るコース
(8時半広島駅～14時頃広島駅、バス利用)
- D. 平和記念公園と周辺の被爆遺跡・碑を巡るコース
(9時青少年センター前から徒歩、約2時間)

広島市青少年センターへのアクセス



※工事のため市民球場跡を通過することができません。西側の道路からお越しください。建物西側の裏口と北側の正面入り口が使用可能です(矢印部分)。

●広島駅から

- ・広島電鉄(路面電車)「宮島口」「西広島」「江波」行→「原爆ドーム前」下車徒歩3分
- ・市内バス「バスセンター」行→「広島バスセンター(そごう内)」下車徒歩10分

●その他

- ・アストラムライン「県庁前駅(地下街シャレオ内)」下車徒歩10分
- ・市内・郊外線バス「広島バスセンター(そごう内)」下車徒歩10分

※青少年センターには駐車場はありません。近隣の駐車場をご利用ください。



朝鮮人労働、強制連行中国人労働により建設され、今も稼働している太田川上流の安野発電所。

広島実行委員会事務局連絡先

事務局長 多賀 俊介(たが しゅんすけ)

〒733-0872 広島市西区古江東町 21-27

Tell : 090-6432-5054、082-272-6464 (FAX 兼)

E-mail : taga.s@do2.enjoy.ne.jp